

新病院建設に関する市民説明会 質疑応答

番号	質問	事務局回答
1	1.5mのマウンドアップまでして今の場所に建てる必要があったのか。	患者さんの利便性を考え、現2病院（市民、三井）に近い場所に建設することとし、1.5mのマウンドアップを行うことで、高潮などによって新病院の出入りが全くできないということがないように計画している。 また、免震構造が入る空間をうまく利用することで、地中を掘る費用も抑えることが可能となり、マウンドアップと建設費用のコストダウンを併せて行うことが可能な方法で進めているのでご理解いただきたい。
2	道路が浸水で使えなくなったときに救急車が通れないのではないのか。ヘリポートという計画はないのか。	新病院に接道する国道30号線は平成16年の高潮の際にも浸水しておらず、緊急時には国道30号線側からの出入口も確保している。 また、新病院にヘリポートがなくても近くにヘリが離着陸できる場所があれば良いと考えているので、万が一そのようなことになれば、必要な場所の確保を今後検討していきたい。
3	外来診察の予約はできるのか。	外来予約が可能となるように準備を進めている。
4	4人部屋にカーテンはあるのか。	最低限カーテンは準備することとしているが、可能であれば簡易な家具などで仕切ることで、個々の空間がなるべく保たれるような4人部屋にしていきたい。
5	入院時のお茶は病院で準備してもらえるのか。	詳細な運用は今後検討していきたい。
6	新病院の見学会はあるのか。	竣工から引っ越しまでの期間を利用するなどして、見学いただく機会を作れるよう、検討していきたい。
7	午後診療は行うのか。	午後診療なども含めて玉野市医師会とも協議しながら、地域で医療を支える体制を構築していきたいと考えている。
8	建設場所の選定など、ここに至るまでに市民の意見をしっかり聞いたのか。	基本計画策定の段階で候補地をいくつか検討した上で、総合的に判断した結果、現在の場所を選定している。基本計画の策定にあたっては、玉野市議会に

		も協議・報告しながら決定してきたことであるが、ご指摘のような印象を与えてしまったことについては、真摯に受け止めている。
9	三井病院を残してほしいという声があるがどうか。	<p>老朽化が著しく、現三井病院を残すことは難しいものと考えている。</p> <p>皆様の不安を解消するためにも、近くのクリニックとも連携しながら地域で医療を支えることができる医療体制を確保していきたい。</p> <p>また、徒歩で三井病院に通われている方でご家族の方の送り迎えも難しいということであれば、訪問診療も可能なので、遠慮無く問い合わせしてほしい。</p>
10	統合することで医療スタッフの人数は増えるのか。	2病院のスタッフが新病院に統合されることで、十分な医療人材が確保できるものと考えている。
11	市民病院に産科をつくってほしい。	<p>産婦人科医の全体の数の少なさもあって確保が難しい状況であり、すぐさま産婦人科を充実していくことは困難と考えている。</p> <p>一方で、産婦人科の充実を望む声があるということは認識をしているので、充実をすることの意義や効果を見極めた上で、医療センターと市が足並みを揃え、実現可能な形を模索していきたいと考えている。</p>
12	新病院周辺は浸水してしまう可能性があるが、新病院は避難場所として受け入れてくれるのか。	新病院は津波ハザードマップなどを用いて、浸水しない高さに設定している。1階には広いエントランス、2階には100名程度収容可能な講堂もあるので、一時的な避難場所として活用することは可能と考えている。
13	地方独立行政法人化したことで、(市民病院職員の)公務員の身分を奪ったと思っている。職員のモチベーションを落とすことなく働ける環境を整備してほしい。	働くスタッフはこれまでと変わらず仕事に取り組んでもらうために、可能な限り対応しているところである。
14	地域医療構想のモデルとの説明(事務局側の説明の中での発言)があったが、どのようなことがモデルとして位置づけられているのか。	玉野市が属する県南東部エリアでは、急性期の病床が過剰になっており、地域のニーズに応じて回復期の病床などに切り替えていくこと、さらに2病院の統合を進め、地域に必要な病床数、病床機能を残していくという地域医療構想の主旨に沿った形で進めているところである。

15	新病院では感染症の入院患者の受け入れも可能なのか。	6階障害者病棟の南東部分を仕切ることが可能であり、陰圧仕様としている。感染症の患者の受け入れも可能である。
16	機器の設置は1階以上に設置することとしているのか。地下には部屋などは一切ないのか。	主要な設備は1階以上としている。1階より下は特に機能はなく、免震ゴムが設置されている空間である。
17	高潮で病院までたどり着けない場合はどうするのか。	<p>玉野医療センターとしては、想定される範囲で可能な限り医療機能を喪失することなく継続的に医療を提供できる体制をつくっていくことが必要なことであると考えている。</p> <p>高潮時に救急車の通行ができないようなエリアをなるべくなくすような施策については、市が考えていくことであるため、本日このようなご意見があったことは市に伝えさせていただく。</p>